

整理番号
91

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	高子北認定こども園整備事業				担当課	こども未来課
業務名	-				担当係	企画管理係
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度 ~ 令和6年度
施策項目	1	子育て支援			事業区分	補助
主な取組	1	保育・教育施設等の整備・確保			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	3	2	1	就学前児保育等検討事業	

目的と方針【PLAN】
安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。

事業概要【PLAN】
民設民営で整備する高子北認定こども園の建築費用の一部を市が補助します。

対象【PLAN】	就学前児及びその保護者	意図【PLAN】	安心して過ごすことができ、預けることができる
-----------------	-------------	-----------------	------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
・希望する園に入園することができる

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	21,827	212,552			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	4,900	51,300			
	その他	千円	0	310	2,757			
	一般財源	千円	0	0	0			
	事業費合計	千円	0	27,037	266,609			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
高子北認定こども園の整備	園	実績値が目標値以上となること	目標値	-	-	1	-	-
			実績値	-	1	-	-	-
			達成率	-	-	-	-	-

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	保育需要に対応するため、市の「認定こども園整備計画」に基づき整備したものであり、必要な事業である。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	保育需要に対応するため、市の「認定こども園整備計画」に基づき整備したものであり、整備により定員不足の状況が解消される。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	国で基準額が定められており、それに市の負担分（負担割合も定められている）を上乗せして、認定こども園整備事業者へ建築費の一部について補助するものである。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	終了・完了	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	開園により、保原地域の定員数不足が解消の方向に向かう見込みである。
--------	-------	-------------------------	-----------------------------------

整理番号
93

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	伊達市版ネウボラ事業			担当課	ネウボラ推進課
業務名	-			担当係	ネウボラ推進係
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	1	子育て支援		事業区分	直営
主な取組	2	親子の育ちの支援、健康の保持・増進		-	-
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	4	1	母子保健事業費	

目的と方針【PLAN】
安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。

事業概要【PLAN】
すべての妊産婦と乳幼児を対象、子どもが健やかに成長するように切れ目なく支援する体制を整え、安心して出産・育児ができる地域を目指します。

対象【PLAN】	すべての妊産婦と18歳までの子どもとその家庭を対象とする。	意図【PLAN】	子どもが健やかに成長するように切れ目なく支援する体制を整え、安心して出産・育児ができる地域を目指す。
-----------------	-------------------------------	-----------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
①切れ目のない支援のための職員の配置（親子1対1で支援する担当保健師、公認心理師、相談員等）②妊婦訪問での育児パッケージ贈呈③産前産後の育児技術習得と仲間づくり④母子保健事業との相互連携によるきめ細やかな支援体制づくり⑤関係機関とのネットワーク構築

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	15,356	10,094	9,720	11,790		
	都道府県支出金	千円	3,208	1,757	1,627	2,143		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	9,565	7,792	13,934	14,297		
	事業費合計	千円	28,129	19,643	25,281	28,230		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
今後も伊達市で子育てをしていきたいと思う人の割合	%	実績値が目標値以上となること	目標値	77.0	77.0	77.0	77.0	77.0
			実績値	77.0	71.7			
			達成率	100.0%	93.1%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

評価視点		評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	妊娠期からの伴走型支援をとおり、ネウボラ事業等の相談体制で切れ目のない支援を実施している。母子保健（予防）支援、子育て支援として優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	各施策の達成状況を把握するため、すこやか親子21アンケートを通して、市民の声、満足度を把握することは有効と考える。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	<ul style="list-style-type: none"> 事業費用は必要最小限とし補助金の活用等で費用を抑えるよう努めた。 ネウボラ事業での参加募集はロゴフォーム等のシステムを活用し事務の効率化を図った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和6年4月1日、伊達市子ども家庭センターが開所され、これまで以上に全妊婦、子育て世帯、子どもたちへの保健と福祉の一体的な相談体制が強化された。これにより、切れ目のない支援が実施されている。今後、こどものより良い育ちを支援するため保健・福祉・教育の連携を強化し支援体制の充実と構築を進めていく必要がある。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
94

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	こども発達支援事業				担当課	ネウボラ推進課		
業務名	-				担当係	発達支援係		
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度 ~ 令和8年度		
施策項目	1	子育て支援			事業区分	直営		
主な取組	2	親子の育ちの支援、健康の保持・増進			-	-		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	3	2	1	こども発達支援事業費			

目的と方針【PLAN】
安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。

事業概要【PLAN】
発達に偏りのある未就学児へ切れ目ない寄り添った支援として、相談・助言・専門的な指導を行い、早期の発達支援を実施することで、健全育成を図ります。

対象【PLAN】	①発達に偏りのある未就学児や言語に障がいや障がいの疑いのある幼児 ②保護者	意図【PLAN】	①健やかな発達と成長を促す。 ②こどもの成長と発達を理解し、安心して子育てができる。
-----------------	--	-----------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
①生活の中での専門的相談・助言
②乳幼児健診や発達検査の結果に基づく助言
③小集団での親支援 など、ニーズに応じた支援方法により、安心して子育てができるようになる。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	12,476	8,225	10,811	8,578		
	事業費合計	千円	12,476	8,225	10,811	8,578		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
乳幼児健診で発達に関する精査が必要とされる子どもが発達支援係子どもを紹介された人数のうち、発達支援係子どもでも相談・支援を受けた子どもの割合	%	実績値が目標値以上となること	目標値	65.0	70.0	75.0	80.0	85.0
			実績値	50.0	89.0			
			達成率	76.9%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	発達に偏りのある未就学児、言語に障がい又は障がいの疑いがある幼児やその保護者は、特性を踏まえた相談や支援をとおして生活場面での困り感の軽減や改善につながることから優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	保護者や児のニーズに応じた個別相談・支援、アドバイザーによる小集団支援、公認心理師や言語聴覚士などの専門的な助言は、児の発達の偏りや障がいの理解を深め適した学びにつながった。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	悩みを抱える保護者や子どもに寄り添い、児の特性に合わせた支援を行うためには事前・事後のカンファレンスや専門性の向上など必要な時間を確保する必要があるが、事業の在り方や各種様式の見直し、簡素化・効率化できるところは工夫した。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	・市内園、健康推進課等関係機関との関係を強化し、切れ目のない支援の一環として障がい特性のある子どもを円滑に相談支援につなげる。 ・子どもや保護者の個々に応じた効果的な相談や支援ができるよう、こどもの発達や障がいの理解と支援技術を深める。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
97

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	保育所運営費負担金事務				担当課	こども未来課
業務名	-				担当係	幼保支援係
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	1	子育て支援			事業区分	直営
主な取組	3	保育サービスの充実			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	3	2	2	保育所運営費負担金事務	

目的と方針【PLAN】
安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。

事業概要【PLAN】
子ども・子育て支援法に基づき、保育を実施した私立保育所に運営費を支給します。

対象【PLAN】	私立保育園	意図【PLAN】	私立保育園に対する運営費の支給
-----------------	-------	-----------------	-----------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
多様な保育サービスの実施に基づく私立保育園からの運営費の請求

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	170,756	212,869	156,351			
	都道府県支出金	千円	96,255	89,843	65,697			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	16,973	18,810	7,429			
	一般財源	千円	153,834	71,637	91,798			
	事業費合計	千円	437,818	393,159	321,275			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
園数	園	実績値が目標値以上となること	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6	5			
			達成率	100.0%	83.3%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	園児が健やかに保育園で生活できるように、運営に係る負担金、補助金を交付し、保護者が安心して働ける社会づくりのため、市民ニーズ、社会的需要、事業としての優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	園児の保育のためのみならず、保護者の労働環境に直結するため、社会貢献度は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	国、県の補助金を活用するなどして財源確保に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	少子化の一方で保育への需要は上昇している。給付費や補助単価も上昇する中、持続的な予算確保が課題である。 令和7年度から「私立保育園運営費負担費・補助金事業」として統合。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
98

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	認定こども園運営費負担金事務				担当課	こども未来課
業務名	-				担当係	幼保支援係
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度 ~ 令和8年度
施策項目	1	子育て支援			事業区分	直営
主な取組	3	保育サービスの充実			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	3	2	6	認定こども園運営費負担金事務	

目的と方針【PLAN】
安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。

事業概要【PLAN】
子ども・子育て支援法に基づき、保育を実施した私立認定こども園に運営費を支給。多様な保育サービスを提供する認定こども園に対し補助金を交付します。

対象【PLAN】	私立認定こども園	意図【PLAN】	私立認定こども園に対する運営費の支給
-----------------	----------	-----------------	--------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
多様な保育サービスの実施に基づく私立認定こども園からの運営費、事業補助金の請求

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	397,892	480,831	594,418	613,693		
	都道府県支出金	千円	221,665	241,695	305,282	369,862		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	296,718	202,279	376,967	449,065		
	事業費合計	千円	916,275	924,805	1,276,667	1,432,620		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
園数	園	実績値が目標値以上となること	目標値	5	7	8	8	8
			実績値	5	7			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	園児が健やかに保育園で生活できるように、運営に係る負担金、補助金を交付し、保護者が安心して働ける社会づくりのため、市民ニーズ、社会的需要、事業としての優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	園児の保育のためのみならず、保護者の労働環境に直結するため、社会貢献度は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	国、県の補助金を活用するなどして財源確保に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	少子化の一方で保育への需要は上昇している。給付費や補助単価も上昇する中、持続的な予算確保が課題である。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
99

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	認定こども園維持管理事業				担当課	こども未来課
業務名	-				担当係	施設運営係
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	1	子育て支援			事業区分	直営
主な取組	3	保育サービスの充実			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	一般	3	2	6	認定こども園維持管理事業	

目的と方針【PLAN】
安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。

事業概要【PLAN】
幼稚園と保育園を一体化した公立認定こども園において就学前教育保育を行うための維持管理を行います。

対象【PLAN】	①乳幼児 ②認定こども園	意図【PLAN】	認定こども園の維持管理
-----------------	-----------------	-----------------	-------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】

- ・園の要望による施設の修繕
- ・保守点検業者等からの点検結果（指摘事項）に基づく修繕、工事
- ・長寿命化計画に基づく施設の改修

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	8,297	9,726	7,081	4,498		
	都道府県支出金	千円	8,195	8,697	7,327	5,127		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	21,045	8,028	19,145	19,188		
	一般財源	千円	172,314	152,882	195,801	206,293		
	事業費合計	千円	209,851	179,333	229,354	235,106		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
園数	園	実績値が目標値以上となること	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか 	園児が安全に安心して認定こども園で生活できるように、園舎や遊具等の修繕を実施しており、市民ニーズ、社会的需要、事業としての優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか 	園児が安全に安心して認定こども園で生活できるように、施設の保守点検や修繕を行うことは有効であると考えている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	<ul style="list-style-type: none"> ・見積り合わせにより費用が安価な業者を選定している。 ・再利用できる資材があれば再利用する。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	計画的に予算執行ができた。限られた予算の中で最大限の効果が得られるよう、計画的なメンテナンスを行えるかが課題である。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
100

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	保原保育園運営維持管理事業				担当課	こども未来課
業務名	-				担当係	施設運営係
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度 ~ 令和8年度
施策項目	1	子育て支援			事業区分	直営
主な取組	3	保育サービスの充実			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	一般	3	2	5	保原保育園運営維持管理事業	

目的と方針【PLAN】
安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。

事業概要【PLAN】
保原保育園において就学前保育を行うための維持管理を行います。

対象【PLAN】	①乳幼児 ②保原保育園及び分園	意図【PLAN】	保原保育園及び分園の維持管理
-----------------	--------------------	-----------------	----------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】

- ・園の要望による施設の修繕
- ・保守点検業者等からの点検結果（指摘事項）に基づく修繕、工事
- ・長寿命化計画に基づく施設の改修

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	1,352	1,017	1,089	1,107		
	都道府県支出金	千円	1,942	1,959	1,951	1,969		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	17,976	14,682	14,578	12,758		
	一般財源	千円	94,865	98,960	120,052	135,483		
	事業費合計	千円	116,135	116,618	137,670	151,317		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
園数	園	実績値が目標値以上となること	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか 	園児が安全に安心して認定こども園で生活できるように、園舎や遊具等の修繕を実施しており、市民ニーズ、社会的需要、事業としての優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか 	園児が安全に安心して認定こども園で生活できるように、施設の保守点検や修繕を行うことは有効であると考えている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	<ul style="list-style-type: none"> ・見積り合わせにより費用が安価な業者を選定している。 ・再利用できる資材があれば再利用する。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	計画的に予算執行ができた。限られた予算の中で最大限の効果が得られるよう、計画的なメンテナンスを行えるかが課題である。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
101

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	地域子育て支援事業（子育て支援センター）				担当課	こども未来課		
業務名	-				担当係	幼保指導係		
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	1	子育て支援			事業区分	一部委託		
主な取組	4	多様な子育て支援サービス等の提供			-	-		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	3	2	1	児童福祉諸費			

目的と方針【PLAN】
安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。

事業概要【PLAN】
安心して子育てができる環境を整えるため、子育て中の親子が気軽に遊んで交流し、育児に関する相談などでもできる子育て支援センターを運営します。

対象【PLAN】	子育て中の保護者	意図【PLAN】	子育て支援センター職員との会話やイベント参加を通じた他の保護者との交流等により、不安や育児ストレスから解放されること。
-----------------	----------	-----------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】

- ・気軽に立ち寄ってもらえるよう、子育て支援センターの事業内容や目的が保護者に理解されていること。
- ・親子で楽しめる子育てイベントを随時開催し、保護者同士で交流、相談し合える機会を積極的に提供すること。
- ・アプリやホームページを活用し、上記に関する情報が手軽に得られること。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	17,640	17,512	19,075	19,440		
	都道府県支出金	千円	15,940	15,713	16,784	17,063		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	16,171	15,957	17,103	13,317		
	事業費合計	千円	49,751	49,184	52,962	49,820		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
子育て支援センター利用者数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	16,000	17,000	18,000	19,000	20,000
			実績値	15,593	14,807			
			達成率	97.5%	87.1%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか 	核家族の増加や子育て家庭の孤立が問題視されていること、祖父母の子育てへの参加等を踏まえ、様々な子育ての悩み解消につながる子育て支援センター事業は必要である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか 	今まで同様に保護者の悩みや相談を丁寧に傾聴し、コミュニケーションを大切に運営した。また、それぞれの施設で、保護者のニーズに合わせたイベントや絵本の貸し出し等も行ったことで、各センターとも保護者からの支持を得ている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	連絡会の内容を協議が必要な事項と紙面での報告事項に精査し、会の時間短縮や会議録作成の負担軽減を図った。

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	子育て支援センターは、子育て家庭にとって身近に利用できて相談しやすい場所である。育児不安を抱えている保護者に、今後も安心して利用してもらえらるため、継続して効果を高めていく。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
102

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	放課後児童健全育成事業				担当課	こども未来課
業務名	-				担当係	施設運営係
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	1	子育て支援			事業区分	直営
主な取組	4	多様な子育て支援サービス等の提供			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	一般	3	2	1	放課後児童健全育成事業	

目的と方針【PLAN】	安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。		
事業概要【PLAN】	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後の時間帯において保護者の代わりに適切な遊びや生活の場を提供し健全育成を図ります。		
対象【PLAN】	登録児童(小学1年生～小学6年生)	意図【PLAN】	安全な場所で遊びや生活の場を提供することにより児童の健全育成を図ることができる。また、女性の就労の増加や少子化が進行する中、仕事と子育ての両立を支援することができる。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	運営施設の環境改善、施設整備に努め希望するもの全員が入所できるようにする。		

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	25,198	32,823	39,695	49,429		
	都道府県支出金	千円	25,198	32,762	40,611	49,163		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	29,409	32,324	32,297	36,395		
	一般財源	千円	118,517	82,784	146,576	189,477		
	事業費合計	千円	198,322	180,693	259,179	324,464		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
放課後児童クラブ利用者数(登録者数)	人	実績値が目標値以上となること	目標値	800	830	830	830	830
			実績値	892	917			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

評価視点		評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	現在公立児童クラブを、11ヶ所で運営している。平成27年度の制度改正があって小学6年生まで利用が可能になったことや、核家族化の進行、共働き世帯の増加等により、年々利用登録児童が増加傾向にある。今年度、公立の児童クラブで定員を超える申し込みがあり、年度当初は待機児童が発生した。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	毎年11月に利用児童保護者を対象としたアンケート調査を実施しており、「保護者と児童クラブ職員との連携」は85%が「大変良い」又は「良い」と回答するなど、高い満足度を獲得している。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	児童クラブを5つのエリアに分けて放課後児童コーディネーターを配置し、ムダ・ムラのないようにシフトを組んだ。夏休み期間は11時間30分開所が約1か月間続いたため、極力長時間勤務にならないように午前と午後を分けるなど、改善に取り組んだ。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	支援員等の随時募集により、安定的なクラブ運営に努めることができた。質の高い運営を進めるため、教職員資格等を持った職員を積極的に採用していく。また、児童クラブによってはブレイルームが無いなど、提供するサービスが均等ではないため、市内の公共施設の利活用を検討し均一化を図っていきたい。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
103

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	子どもの未来応援ネットワーク事業			担当課	ネウボラ推進課
業務名	-			担当係	こども家庭相談係
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	1	子育て支援		事業区分	一部委託
主な取組	4	多様な子育て支援サービス等の提供		-	-
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	3	2	児童福祉諸費	

目的と方針【PLAN】	安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。		
事業概要【PLAN】	市内の子どもの貧困対策及び居場所づくりのため、子ども支援ネットワーク会議において官民一体となって協議していくとともに、子ども食堂設置への補助や学習支援等に取り組みます。		
対象【PLAN】	18歳未満の子ども	意図【PLAN】	すべての子どもが育った環境に左右されることなく健やかに成長できる環境を整えること。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	子どもの貧困に関する市の課題が共有され、広い視点からその解決策を検討し、目標の実現に向け取り組まれていること。		

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	1,318	1,350	1,380	1,412		
	都道府県支出金	千円	593	608	671	529		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	1,505	988	1,100	2,399		
事業費合計		千円	3,416	2,946	3,151	4,340		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
子どもの居場所の数	ヶ所	実績値が目標値以上となること	目標値	9	10	10	11	12
			実績値	9	9			
			達成率	100.0%	90.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

評価視点		評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	地域の居場所としての子ども食堂の認識が広まりつつあり、子どもや親子連れの利用者が増加傾向にある。学習支援事業の参加者が年々増加している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	学習支援事業は、専門業者による実施により参加者の満足度が上がり、学習習慣の定着や非認知能力の醸成にもつながり、参加者の居場所の一つになっている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	中学生対象の学習支援事業を小学5年生にまで拡大したことで、同程度の金額で、早い段階から学習習慣の定着を促すことができた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	参加者にとっては居場所の一つとして認知され有効に活用されている。子ども食堂、学習支援事業ともに認知度の向上と利用しやすい環境づくりが課題。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
104

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	子育てアプリ事業				担当課	こども未来課
業務名	-				担当係	企画管理係
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	1	子育て支援			事業区分	一部委託
主な取組	4	多様な子育て支援サービス等の提供			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	3	2	1	子育てアプリ事業	

目的と方針【PLAN】
安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。

事業概要【PLAN】
スマートフォン普及率の高い子育て世代に向けたアプリケーションにより、子育て支援イベントの発信や子育て支援策の案内など子育て関連の情報発信を行い、子育て支援の充実を図ります。

対象【PLAN】	妊婦から子育て中の保護者	意図【PLAN】	アプリの利用により、保護者がいつでも簡単に子育て情報をチェックできること
-----------------	--------------	-----------------	--------------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】

- ・保護者に対しアプリの存在、利便性が周知されていること
- ・多様な子育て情報が発信できるよう、他課にもアプリを活用してもらうこと
- ・新たな機能の追加などにより、より使いやすいアプリへ進化していくこと

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	757	1,102	1,513		
	都道府県支出金	千円	0	270	551	361		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	1,298	271	552	397		
	事業費合計	千円	1,298	1,298	2,205	2,271		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
スマートフォンアプリのインストール数	ダウンロード	実績値が目標値以上となること	目標値	4,203	4,503	4,803	5,103	5,388
			実績値	4,387	4,930			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか 	国をあげて推進している伴走型相談支援について、伊達市では、だて子育てアプリを活用し子育てに係る各種情報発信を行っており、伴走型相談支援に欠かせないツールとなっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか 	令和6年度の年間ダウンロード数は543件（R7.3末時点）であり年間出生者数を上回っていることから、着実に子育て世帯へ浸透している。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	令和5年度より、交付金を活用することで一般財源を抑えてアプリを運用することができた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	必要に応じて新たな機能・メニューの追加を行い、より使いやすいアプリとしていく。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
105

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	児童手当給付事業				担当課	ネウボラ推進課		
業務名	-				担当係	子育て支援係		
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	1	子育て支援			事業区分	直営		
主な取組	4	多様な子育て支援サービス等の提供			-	-		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	3	2	2	児童手当事業費			

目的と方針【PLAN】	安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。							
事業概要【PLAN】	家庭生活の安定と次世代の社会を担う児童の健全育成・資質の向上を図るため、0歳から高校3年生までの子どもを養育している方に支給します。							
対象【PLAN】	児童を監護し、かつ、これと生計を同じくする父母等であって、伊達市内に住所を有するもの			意図【PLAN】	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資する			
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	児童を養育している者への児童手当の支給							

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	489,484	467,295	568,982	819,711		
	都道府県支出金	千円	109,195	104,972	99,967	99,829		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	110,706	105,478	100,009	99,830		
	事業費合計	千円	709,385	677,745	768,958	1,019,370		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
対象児の把握と適正な支給	%	実績値が目標値以上となること	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績値	100.0	100.0			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

評価視点		評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	児童手当の支給は、法令等によって市が行うものと義務付けられている。子育て世帯が、安心して子育てをするための経済的支援として市民ニーズ・社会的需要が高く、事務事業の優先度は高いと評価する。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	子育て世帯への経済的支援は、家庭生活の安定や児童の健全育成に寄与していると考えられ、貢献度は高いと評価する。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	具体的かつ正確な根拠資料を作成の上、国・県へ遺漏なく交付金を申請し、財源確保を図った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	本事業は関連法令に基づき適正に執行されている。引き続き適正な支給を行う。
--------	----	-------------------------	--------------------------------------

整理番号
107

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	児童虐待等相談事業				担当課	ネウボラ推進課		
業務名	-				担当係	こども家庭相談係		
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度 ~ 令和8年度		
施策項目	1	子育て支援			事業区分	直営		
主な取組	5	要保護児童等への対応			-	-		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	3	2	1	児童福祉諸費			

目的と方針【PLAN】
安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。

事業概要【PLAN】
・児童の養育その他の家庭児童福祉の向上を図るための相談、指導及び援助を行います。
・要保護児童対策地域協議会の調整機関として、関係機関と連携を図りながら、児童虐待をはじめ要保護児童等の早期発見・対応に努め、適切な支援等を行います。

対象【PLAN】	18歳未満の子ども	意図【PLAN】	児童虐待防止における連携を図り、各関係機関とともに適切な支援を行い、健やかに成長できる環境を整えること。
-----------------	-----------	-----------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
専門職による子どもおよび保護者の相談援助活動を行い、場合によっては必要な地域資源につなげ、自立した生活ができるよう支援する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	1,728	2,831	2,633	3,521		
	都道府県支出金	千円	1,698	3,127	716	1,510		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	10,571	7,444	8,455	14,004		
	事業費合計	千円	13,997	13,402	11,804	19,035		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
家庭児童相談件数	件	実績値が目標値以下となること	目標値	150	150	150	150	150
			実績値	131	137			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	毎年ほぼ一定数の相談件数があり、支援が必要な児童および保護者の相談窓口として今後も必要である。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	子どもに関して市民が困ったときにすぐに相談できる総合的な窓口の役割を担っている。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	会議開催時は資料を事前配布し、あらかじめ資料を確認してもらうことで、会議時間の短縮に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	こども家庭センター内での迅速な情報共有により、母子保健と児童福祉の役割分担が明確となり早期対応につながった。さらなる早期発見のため、学校や園との連携をより一層深めていく必要がある。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
108

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	青少年育成市民会議団体支援事業				担当課	こども未来課
業務名	-				担当係	企画管理係
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	1	子育て支援			事業区分	補助
主な取組	6	青少年の健全育成			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	10	1	2	青少年育成事業費	

目的と方針【PLAN】
安心して子育てができ、子どもが健やかに成長するよう、子育て支援サービスや保育サービスの充実をはじめ、妊娠期からの切れ目のない支援を進めます。

事業概要【PLAN】
伊達市の未来を担う青少年の健全育成を図るため、家族・地域・学校などの様々な取り組みを支援し、関係機関とともに充実した事業の推進を図るため市民会議団体へ補助金を交付します。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	次代を担う青少年の健全な育成を図ります。
-----------------	----	-----------------	----------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
青少年の問題が持つ重要性和多様性に鑑み、広く市民の創意を結集し、関係機関や各団体との連携を密にする。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	2,362	3,450	3,506	2,800		
	事業費合計	千円	2,362	3,450	3,506	2,800		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
事業実施回数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	8	8	8	8	8
			実績値	9	9			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	青少年が日常の中で感じていること、考えていることを発表する場の提供や大人への自覚を高めるための事業を行い、青少年の健全育成に寄与するために必要である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	事業に参加した生徒や学校関係者からは一定の評価をいただいている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	事務手順を見直すことで、事務にかかる時間の削減を図った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	改善	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	<p>推進大会では、約150人に参加いただき、青少年健全育成推進運動の推進を図った。立志式では、市内の中学2年生約430人を対象とし、大人への自覚を深める機会となった。</p> <p>青少年の健全育成のため、関係機関との連携を強化するとともに、事業の開催形式を見直す等より効果的に事業を実施したい。</p>
--------	----	-------------------------	---